

庶務概要（平成 23 年度）

1 水産総合研究所の沿革と組織

（１）位 置

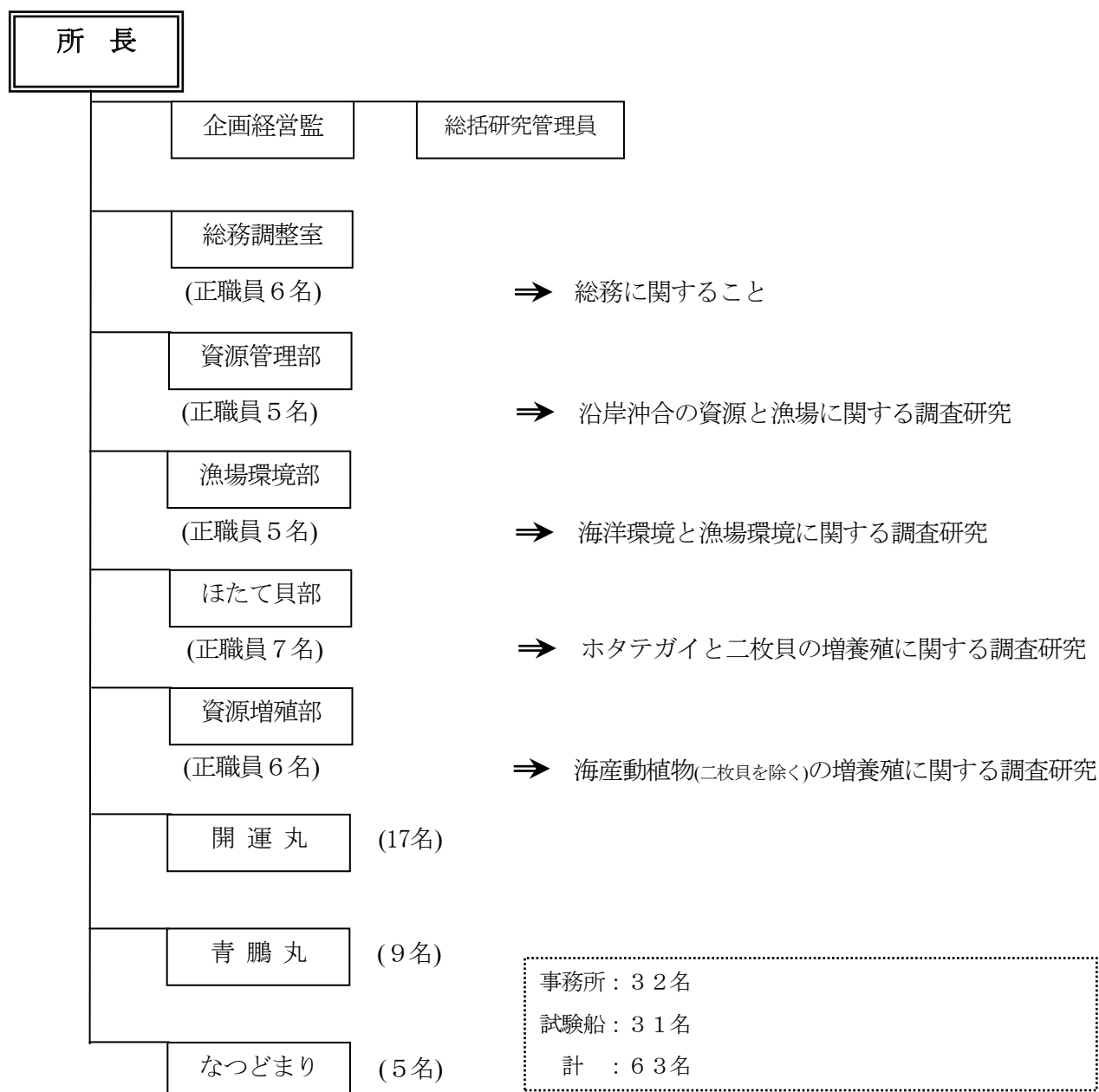
東津軽郡平内町大字茂浦字月泊 1 0

（〒039-3381 TEL 017-755-2155 FAX 017-755-2156）

（２）沿 革

明治 33 年 2 月	青森県水産試験場設置認可（農商務大臣）
明治 33 年 4 月	青森市大字大野字長島青森県庁構内に設置し事務開始
明治 34 年	相坂鮭鱒人工ふ化場を上北郡藤坂村に設置
大正 13 年	本場を八戸市湊町に移転
昭和 23 年	黒石養魚場を南津軽郡中郷村に設置
昭和 23 年	本場を西津軽郡鰺ヶ沢町に移転、庁舎新築
昭和 24 年	陸奥湾分場をむつ市に設置
昭和 25 年	黒石養魚場を黒石市大字石名坂に移転
昭和 27 年	陸奥湾分場が陸奥湾水産増殖研究所と改称され独立機関となる
昭和 43 年	水産増殖研究所を平内町茂浦に移転し、水産増殖センターと改称する
昭和 51 年 3 月	鰺ヶ沢町大和田に水産試験場新庁舎を竣工
昭和 56 年 4 月	十和田市に青森県内水面水産試験場を設置する（相坂、黒石両養魚場及び内水面関係業務を移管）
昭和 58 年 2 月	青森県水産試験場漁業研修センター竣工
平成 5 年	水産増殖センター新庁舎竣工
平成 12 年 4 月	水産試験場創立 100 年
平成 13 年 3 月	八戸市ポートアイランドに漁具倉庫新築
平成 15 年 4 月	試験研究機関の統合により青森県水産総合研究センターと改称され、下部機関として増養殖研究所、内水面研究所が配置となる
平成 18 年 4 月	水産総合研究センター庁舎を鰺ヶ沢町舞戸町に移転
平成 21 年 4 月	青森県水産総合研究センターと増養殖研究所を統合し、地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所となり、庁舎を平内町へ移転

(3) 機 構 (平成 23 年度)



(4) 施 設

① 土 地	20,971.30m ²		
② 建 物	5,461.74m ²		
・管理研究棟	鉄筋コンクリート造	1部2階建	1,735m ²
・実験機械棟	鉄骨造	平屋建	1,122m ²
・飼育実験棟	〃	〃	1,563m ²
・研修宿泊棟	木 造	2階建	271m ²
・作業 棟	〃	平屋建	324m ²
・取水ろ過棟	鉄筋コンクリート造		103m ²
・倉 庫 棟	木 造	平屋建	108m ²
・発電機棟	鉄筋コンクリート造	〃	59m ²
・車 庫 棟	鉄骨造	〃	74m ²
・油 庫 棟	〃	〃	8m ²
・その他			95m ²
③ 主 な 施 設			
・海水取水ポンプ	7.5KW	3台	
・逆洗ポンプ	18.5KW	1台	
・ろ過槽（重力式）	80トン/時	3基	
・ろ過貯水タンク	120トン	1基	
・屋外コンクリート水槽	12トン：6面、10トン：8面		
・親魚棟コンクリート水槽	30トン：1面、20トン：1面、10トン：4面		
・屋内FRP水槽	30トン：2面、10トン：2面、5トン：3面		
・ブ ロ ヱ ー	3.7KW：2台、5.5KW：1台		
・発 電 機	500KVA	1台	
・海水温度制御装置（アクアトロン）	温海水 5系統 35トン/時 冷海水 4系統 6トン/時		
・海況自動観測装置（ブイロボット）	3基		
④ 試 験 船			
・開 運 丸	206トン	ディーゼル	1,400PS（鉄鋼船）
・青 鵬 丸	65トン	ディーゼル	1,000PS（ 〃 ）
・なつどまり	24トン	ディーゼル	770PS（FRP船）
⑤ 実 習 船			
み ど り	4.2トン	ディーゼル	50PS（FRP船）
二十一海洋	2.8トン	船外機（2サイクル）	110KW（FRP船）